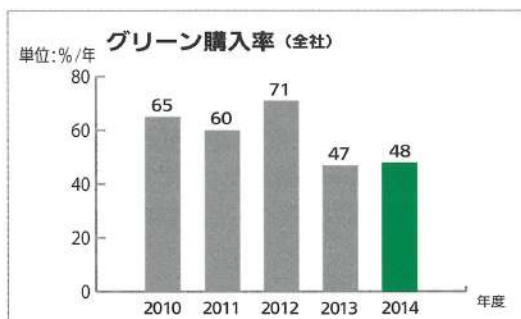


川本工業の環境活動 2015

継続的活動の報告

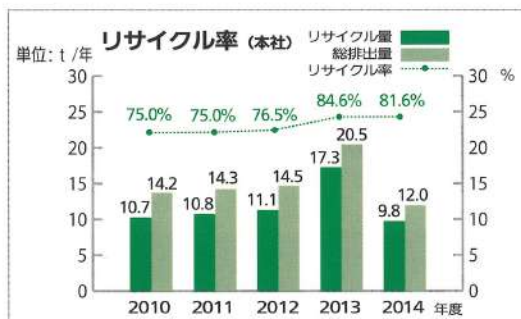
当社では事務所での環境活動として「グリーン購入率」「リサイクル率」「電気使用量」を継続的に集計し、結果の公表を行っています。



●グリーン購入率 (全社)

2014年度のグリーン購入率は48%で、前年度比1ポイント上昇しました。昨年より、オフィスと現場事務所の両方を集計範囲としています。部署別にグリーン購入率を比較すると技術部門が低い傾向にある事が分かりました。

ただし、購入する商品の中にはグリーン商品が選択できない無い場合もあるため、これを踏まえながら今後も引き続きグリーン購入の啓蒙活動と集計を続けていきます。



●リサイクル率 (本社)

左のグラフは本社から排出されたゴミのうち、資源化されたゴミの量と、総排出量との割合から算出したリサイクル率を表しています。

2014年度のリサイクル率は81.6%と前年度比▲3ポイントとなりましたが、集計している5年間の中でも総排出量が最も少量であり、「少ない排出量で、高いリサイクル率」という結果になりました。



●電力使用量 (全社)

全社の電力使用量は、※2010年度比で3,389百kWh/年の減(▲36.7%)となりました。4年連続で使用量が減少しており、オフィスでの節電への取り組みは良好と考えます。

今後も社内での啓蒙活動と、外部からの節電・省エネなどに関する情報収集を行い節電を実施していきます。

※政府の電力需要対策は2010年度実績を基準とし、横浜市の節電・省エネ対策基本方針も同様に基準を定めていることから、当社でも2010年度の当社実績を基準とします。

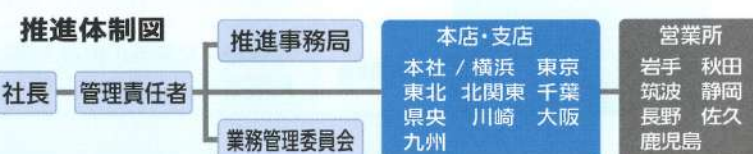
～川本工業ビル 省エネ改修工事の経過報告～

昨年、弊社では本社社屋の耐震化工事と省エネ改修工事を実施しました。その中で老朽化した空調熱源を交換し、東京ガス様様が提供する省エネ・節電支援サービス BEMS を導入してビル全体のエネルギー使用量の見える化を図りました。導入後1年間(2014年1月～12月)の省エネ・節電結果は以下の通りでした。

- ・省エネルギー効果 14.5%【目標 12.2%】
- ・電力削減率 8.5%【目標 4.5%】

環境活動の推進方法

環境保全活動は、「環境マネジメントシステム ISO14001:2004」に基づいて運用しています。



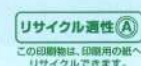
川本工業株式会社

作成：営業本部経営企画部 TEL：045-662-2567

URL：http://www.kawamoto-ind.co.jp/ (川本工業では、ホームページで環境活動の報告を公開しています。)

発行年月：2015年10月 報告対象期間：2014年4月1日～2015年3月31日 (特に記載のある箇所を除く)

違法な伐採がされていない、適切に管理された森林から産出された木材チップを原料にしたFSC®森林認証紙、有害なVOC(揮発性有機化合物)を発生させるもとなる石油系溶剤が0%のノンVOCインキなど印刷用材料と製造工程が環境に配慮されているグリーンプリンティング認定工場にて印刷しています。また、読みやすさに配慮した書体を使用しています。



環境方針

川本工業は、地球環境保全を企業活動の社会的責務の一つとして位置づけ、環境に配慮した事業活動を的確な対応により推進する。

- 各部門は、環境負荷低減のために、適正な環境目的及び目標を設定し、環境マネジメントプログラムを策定して環境保全活動を実施する。
 - ① 環境に配慮した設計に努める。
 - ② 資源の効率的利用、建設副産物の発生抑制及び工事周辺環境の保全に配慮した施工計画・施工管理に努める。
 - ③ 省資源、省エネルギー、リサイクル及び廃棄物発生の抑制を推進する日常の業務管理、運営に努める。
- 環境に関連する法規制、並びに同意可能な業界の規範及び自主的に定める基準などを明確にし、遵守する。
- 全社員に環境方針の周知を図るとともに、環境に関する教育を実施し、環境保全活動の理解、意識の向上に努める。また当社の事業に係わる協力業者に環境方針の周知を図る。
- この環境方針を公表するとともに、地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組む。

以上を継続的に推進し、また改善するため「環境マネジメントシステム」を確立・運用し、定期的に見直しを実施する。

省エネルギー提案 導入と実績：はだの・湯河原温泉万葉の湯省エネルギー事業 小田原お堀端万葉の湯省エネルギー事業

「万葉倶楽部株式会社」様は都市の温泉郷をコンセプトに、創造性豊かな施設を全国で展開しています。今回は神奈川県秦野市と小田原市の2施設に、空調機と照明の高効率機器への交換と「平成25年度エネルギー使用合理化事業者補助金」の利用を提案し、ご採用頂きました。その概要と実績を紹介します。

工事概要

- 空調機を高効率機器に取替えることによりエネルギー消費量を削減すると共に、室内機は全方向に気流を吹出すことで室内温度の偏りの軽減を図りました。
- 照明をLEDへ交換することで消費電力の削減を図りました。LED照明は蛍光灯より長寿命で設置後の維持管理面でもメリットがあります。
- はだの・湯河原温泉万葉の湯では、全熱交換機導入により、換気の際の熱ロスの抑制をおこないました。

はだの・湯河原温泉万葉の湯

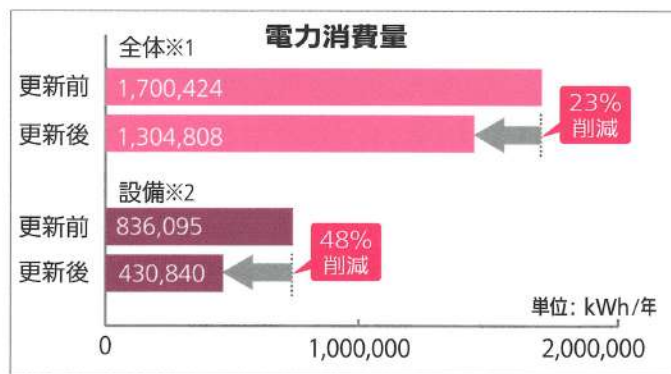


工事場所：神奈川県秦野市河原町
構造：鉄筋コンクリート造地上6階 地下1階
延床面積 6,830㎡
更新設備：空冷ヒートポンプパッケージ空調機
(室外機9台、室内機46台、室内外機94台)
照明(蛍光灯・ダウンライト 936台)
全熱交換機(2台)

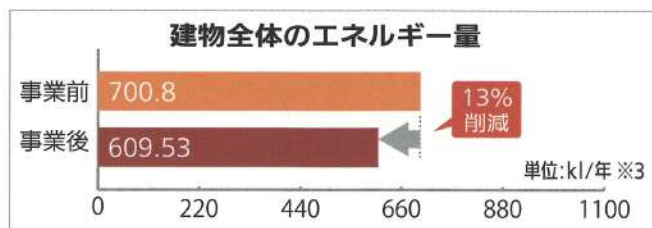
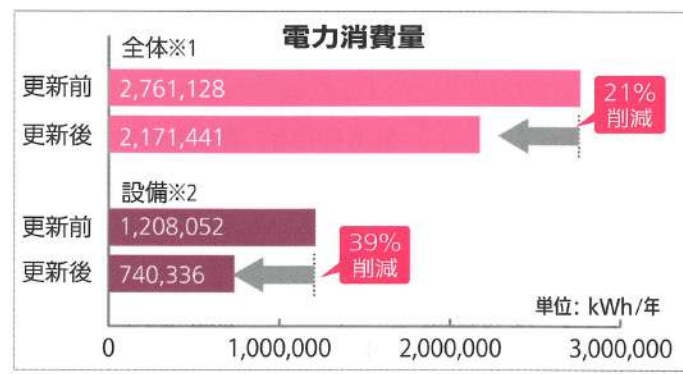
小田原お堀端万葉の湯



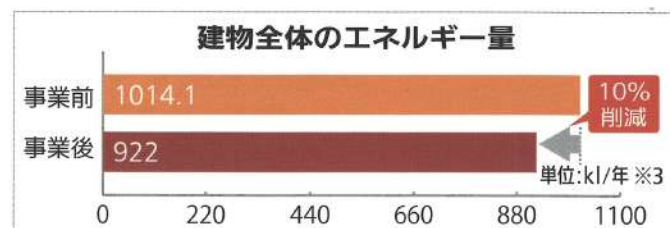
工事場所：神奈川県小田原市栄町
構造：鉄筋コンクリート造地上7階 地下2階
延床面積 9,835㎡
更新設備：ヒートポンプエアコン
(室外機29台、室内機141台)
照明(蛍光灯・ダウンライト 1,004台)



※1 「全体」は、建物全体の電力消費量
※2 「設備」は、空調機と照明の電力消費量



※3 「エネルギー量」は、建物全体の電力・ガスなどの消費量を原油換算したもの



空調と照明の機器を更新することで、室内環境を良好に保ちながら建物全体のエネルギー使用量を削減します。エネルギー消費が大きい温浴事業ですが、環境に配慮した地球にやさしい取組みを行っています。

省エネルギー提案 導入事例：医療法人正史会大和病院

「医療法人正史会大和病院」様は神奈川県大和市の、緑豊かな森に囲まれた近代的な設備の、明るく開放的な病院で、「心の病」をかかえた方々に、心やすらぐ環境を提供されています。



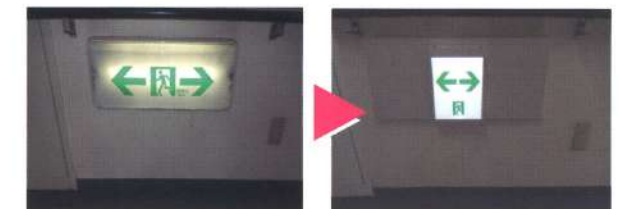
工事概要

建物は竣工から15年が過ぎ、設備機器が耐久年数に達し交換時期になっていました。今回は、高効率の最新設備機器への交換と照明のLED導入による省エネルギー対策と、経済産業省の補助金の活用を併せて提案し、お客様と打合せを重ねてご採用頂きました。この提案では電力削減率15.0%を見込んでいます。



空調機室外機の更新前

更新後



誘導灯の更新前

更新後

工事場所：神奈川県大和市深見西
構造：鉄筋コンクリート造 地上5階
延床面積 7,693㎡、病床数 250床
更新設備：電気式ヒートポンプエアコン (EHP) 16系統
照明(誘導灯・蛍光灯・ダウンライト 計1,166台)
電力削減率：15% (見込)
《節電効果》
事業後の建物全体の電力削減量は、2,269,000kWh

施工現場における環境活動の紹介 2014年度

当社施工現場では以下の環境活動に取り組んでいます。実施状況を把握するため、サンプリングを行い結果の報告をしています。

施工現場における廃棄物の分別率	63.9%	資源の効率的利用を図る為、産業廃棄物の分別を推進しています。
資源の効率的利用につながる※VE案	226件	適正品質を確保すると共に、資源の効率的利用に繋がる提案を行なうことを推進しています。 ※VE (Value Engineering) = 品質や信頼性という機能的価値を低下させずに、製品製造コストの低減を行う方法。
プレ加工	57,262 m	あらかじめ工場で切断・加工した配管部材を、施工現場で組立てることにより、建設副産物の発生抑制を推進しています。
工事周辺環境への配慮	69.8%	アイドリングストップ、計画的な資材搬入、周辺清掃、作業時間/日の厳守、低騒音機器の採用など 周辺環境に配慮した活動を推進しています。
フロン回収の徹底	808.6kg	空調機・冷凍機の廃棄の際に発生するフロンガスを、確実に回収し、適切に処理することを徹底しています。

全施工現場における、廃棄物の種類別排出割合状況

